

# 国語科年間指導計画・評価計画（3年生）

	教材名	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	見えないだけ	【知・技】抽象的な概念を表す語句の量を増すとともに、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)エ)		【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	世界はうつくしいと	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		【態】進んで語感を磨き、友達の考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。
	握手	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。(1)イ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、物語の展開のしかたなどを捉えようとしている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えようとしている。(C(1)イ)	【態】粘り強く物語の展開のしかたを捉え、学習課題に沿って作品を批評したり、考えたことを伝え合ったりしようとしている。
	【聞く】評価しながら聞く	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)	【態】聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしてメモしようとしている。
	季節のしおり 春	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
5月	学びて時に之を習ふ ——「論語」から	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	【態】人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見をもち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	情報整理のレッスン 情報の信頼性	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)		【態】学習課題に沿って情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。
	文章の種類を選んで書く 修学旅行記を編集する	【知・技】文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ)	【思・判・表】 ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	【態】進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
	漢字1 熟語の読み方 漢字に親しもう1	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。

	作られた「物語」を超えて	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、論理の展開のしかたなどを捉えている。(C(1)ア) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)	【態】進んで文章の構成や論理の展開のしかたについて評価し、情報と情報の関係について深めた理解を生かして、文章にまとめようとしている。
6月	思考のレッスン 具体化・抽象化	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア)		【態】具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。
	説得力のある構成を考えよう スピーチで社会に思いを届ける 資料 リオの伝説のスピーチ	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。(A(1)ア) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ)	【態】相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている。
	漢字に親しもう2	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉1 すいかは幾つ必要?	【知・技】単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解するとともに、話や文章の構成や展開について理解を深めている。(2年(1)オ)		【態】助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。
	実用的な文章を読もう 報道文を比較して読もう	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。(2)イ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、集めた材料の客観性や信頼性を確認し、伝えたいことを明確にしている。(B(1)ア)	【態】積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。
7月	俳句の可能性 俳句を味わう 【書く】俳句を作って楽しもう	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ) ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。(1)ウ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章の構成や表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ) ・「書くこと」において、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。

# 国語科年間指導計画・評価計画（3年生）

	言葉を選ぶ もっと「伝わる」表現を 目ざして	【知・技】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違い について理解している。(3)ウ)		【態】時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いにつ いて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選 んで話そうとしている。
	言葉1 和語・漢語・外 来語	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増 し、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を 磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		【態】進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生か して相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。
	読書を楽しむ	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義 と効用について理解している。(3)オ)		【態】進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって 読書を楽しむ活動に参加しようとしている。
	「私の一冊」を探しにい こう 羊と鋼の森 読書案内 本の世界を 広げよう 読書コラム ためになるってどんな こと?	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義 と効用について理解しようとしている。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げ たり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見 をもっている。(C(1)エ)	【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を 生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしよ うとしている。
	季節のしおり 夏	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増 し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積 極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
9月	挨拶 ——原爆の写真によせ て	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増 し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、詩の構成や表現のしかたについて評価 している。(C(1)ウ) ・「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりし て、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)	【態】詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課 題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝 え合おうとしている。
	故郷	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義 と効用について理解している。(3)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表 れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたり して、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 (C(1)エ)	【態】粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小 説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。
	聞き上手になろう 質問で相手の思いに迫 る	【知・技】敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切 に使っている。(1)エ)	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、話の展開を予 測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自 分の考えを広げたり深めたりしている。(A(1)エ)	【態】粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生 かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
	[推敲]論理の展開を整 える	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深 めている。(2)ア)	【思・判・表】「書くこと」において、目的や意図に応じた表現 になっているかなどを確かめて、文章全体を整えている。(B(1) エ)	【態】目的や意図に応じた表現になっているかを粘り強く確か め、情報と情報との関係の知識を生かして推敲しようとしている。

	言葉2 慣用句・ことわざ・故事 成語	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		【態】積極的に慣用句やことわざ、故事成語を理解し、今までの学習を生かして短文を作ったり調べたりしようとしている。
10月	漢字2 漢字の造語力 漢字に親しもう3	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	人工知能との未来 人間と人工知能と創造 性	【知・技】情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。(C(1)イ) ・「読むこと」において、文章を読んで考えを上げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	【態】積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。
	多角的に分析して書こう 説得力のある批評文を 書く	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	【思・判・表】 ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。
	漢字に親しもう4	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	[議論]話し合いを効果 的に進める	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを上げたり深めたりしている。(A(1)オ)	【態】積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
11月	合意形成に向けて話し 合おう 課題解決のために会議 を開く	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	【思・判・表】「話すこと・聞くこと」において、進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを上げたり深めたりしている。(A(1)オ)	【態】合意形成に向けて粘り強く考えを上げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。
	音読を楽しもう 初恋	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。(1)イ	【思・判・表】「読むこと」において、詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)	【態】進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。
	季節のしおり 秋	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	和歌の世界 音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序	【知・技】歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア		【態】進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。

# 国語科年間指導計画・評価計画（3年生）

	君待つと ——万葉・古今・新古今	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ	【思・判・表】「読むこと」において、和歌の表現のしかたについて評価している。(C(1)ウ)	【態】進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。
	夏草 ——「おくのほそ道」から 【書く】古典の言葉を引用し、メッセージを贈ろう	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。
12月	古典名句・名言集	【知・技】 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。(3)ア ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。(3)イ		【態】長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。
	誰かの代わりに	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。
	情報を読み取って文章を書こう グラフを基に小論文を書く	【知・技】具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア	【思・判・表】「書くこと」において、論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。(B(1)オ)	【態】論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。
	漢字3 漢字のまとめ 漢字に親しもう5	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(1)ア		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	文法への扉2 「ない」の違いがわからない?	【知・技】単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。(1年(1)エ、2年(1)オ)		【態】単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。
	本は世界への扉 エルサルバドルの少女 ヘスース 紛争地の看護師 読書案内 本の世界を広げよう	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	【態】進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んで考えたことをまとめようとしている。

	季節のしおり 冬	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)		【態】伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
1月	温かいスープ	【知・技】自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)	【思・判・表】「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	【態】人間、社会、自然などについて進んで自分の意見をもち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。
	わたしを束ねないで	【知・技】理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。(1)イ)	【思・判・表】「読むこと」において、詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ)	【態】詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2月	三年間の歩みを振り返ろう 冊子にまとめて、発表会をする	【知・技】 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用語や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。(1)イ) ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ)	【思・判・表】 ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。(B(1)イ)	【態】粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。
	漢字に親しもう6	【知・技】第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。(知・技(1)ア)		【態】学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3月	学習を振り返ろう	【知・技】 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。(1)エ) ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。(2)ア) ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。(3)ウ) ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。(3)オ)	【思・判・表】 ・「読むこと」において、文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。(C(1)エ) ・「話すこと・聞くこと」において、自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。(A(1)イ) ・「話すこと・聞くこと」において、場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。(A(1)ウ) ・「書くこと」において、表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。(B(1)ウ)	【態】粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。